

校長室だより



第 19 号

令和7年8月26日(火)

〔発行者〕 三笠 淳一

スローガン: ○凡事徹底で生活の基礎固め～基本的生活習慣のレベルアップ

○全力燃焼～過程（プロセス）重視

37日間の夏休みが終了し、2学期がスタートしました。始業式ではまず、夏休み中の重点目標として掲げた「時間管理」について、1学期終業式で予告した通り発表してもらいました。まずは一問一答で、7年生の川達慶人くんに「時間管理はどの場面で気をつけたか」「守れたか」「守れなかった理由は何か」「その反省を2学期にどう活かそうと思っているか」を答えてもらいました。その一問一答を元に頭の中で言うべき内容を整理して、発表できるように全員にその場で準備させ、9年生の河津地洋くんと8年生の香月翔満くんに発表してもらいました。これが、授業でも育成をはかっている「対話力・表現力の向上」です。今後、短学活や生徒集会などでも同様の意見発表の場を積極的に設定してきます。

また、2学期は行事が多くそれに向けての取り組みも増えます。充実感や達成感が得られるように全職員でサポートしていきます。

## 始業式で発表した学年代表の「2学期の抱負」

7年生 仁田野 巧くん

2学期の目標は2つあります。1つ目はその日のうちにやらなければならないことを確実にやることです。1学期は宿題を朝することがあったり、毎日記入して提出しなければいけないものを提出していなかつたりしたことがあったからです。それに予習などの自主学習があまりできていませんでした。そういう自分の取り組みから、学習が思うようにできていなくて力がつきませんでした。だから、やらなければならぬことを確実に行なうことが大事だと思いました。2つ目は整理整頓をすることです。必要なものが見つかからなかったり、提出期限が守れなかつたりしたことがあります。そなならないためにも、後回しにせずその時に整理することを心がけたいです。身の回りの整理整頓ができると、頭の中の整理にもつながっていき学習にも取り組みやすくなると考えています。この2つの目標に取り組みながら生活面でも学習面でも力をつけていきたいです。



9年生 河津 丈介くん

今回の夏休みでの学習面の目標は自学習を習慣化することで、だいたい80%くらい守れました。生活面での目標は、さまざまな学校の体験学習に行くことで、進路の選択肢を増やすことでした。様々な学校の特徴があり、どの学校も楽しそうでした。



2学期、学習面での目標は毎日の120分以上の自学習を徹底すること、生活面では、生活リズムを崩しすぎないように気をつけたいと思います。

クラスとしては、朝自習やドリルタイムなどの時間に、お互いに呼びかけ合うことで受験に向かうムードを高めていきたいです。しかし、「中学生最後の」という枕言葉がすべての行事に付くので、最上級生として後輩たちを引っ張り、引き継いでいこうと思います。

8年生 萩野 武美くん

僕は、夏休みの目標を振り返りながら2学期の学校生活を充実するための決意を述べます。1つ目は家庭学習についてです。私は、8年に上がる春休みに、勉強をせずに一日中遊ぶことがありました。このことから、8年となって学習習慣が定着していないと反省をしていました。だから、この夏休みは、毎日勉強をすると決意し、実行きました。そして2学期も、引き続き、毎日の家庭学習が達成できると、自信が湧いています。さらに、2学期は、家庭学習の時間を気にしながら、少なくとも110分以上の時間を確保したいと思います。これを目標にして、8年の学習内容を定着させていきたいです。



次の目標は、毎日の手伝いをすることでした。正直に話すと、結果はありませんでした。お手伝いができない日が、半分くらいあったからです。しかし、うちの人から助けを求められた時は、それに応えることはできました。2学期からは、家庭でのお手伝いについても、ちゃんと要望に応え、さらに自分で気が付いたときは、率先して行動しようと思います。

最後は、2学期の学校行事についてです。8学年は、特に、「文化祭」「修学旅行」「生徒会選挙」に気合いが入っています。ぼくは、クラスの中で自分をしっかり表明して、学校行事を成功させようと思います。以上のような取り組みを行い、僕は大山中を元気ある学校に盛り立てていきたいです。